

文部科学大臣 殿

〔設置者の名称〕 学校法人国際基督教大学

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 竹内 弘高

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

## ○申請者に関する情報

大学等の名称	国際基督教大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(○大学・短期大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	東京都三鷹市大沢三丁目 10 番 2 号
学長又は校長の氏名	学長 岩切 正一郎
設置者の名称	学校法人国際基督教大学
設置者の主たる事務所の所在地	東京都三鷹市大沢三丁目 10 番 2 号
設置者の代表者の氏名	理事長 竹内 弘高
申請書を公表する予定のホームページアドレス	<a href="https://www.icu.ac.jp/admissions/finance/">https://www.icu.ac.jp/admissions/finance/</a>

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。 この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取

り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	総務グループ・森川	0422-33-3016	soumug@icu.ac.jp
第2号の1	教務グループ・永谷	0422-33-3054	ea-group@icu.ac.jp
第2号の2	総務グループ・森川	0422-33-3016	soumug@icu.ac.jp
第2号の3	教務グループ・永谷	0422-33-3054	ea-group@icu.ac.jp
第2号の4	総務グループ・森川	0422-33-3016	soumug@icu.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	9,007,785,352 円	9,265,078,486 円	-257,293,134 円
申請2年度前の決算	8,493,192,055 円	9,112,723,322 円	-619,531,267 円
申請3年度前の決算	9,909,355,008 円	9,047,704,956 円	861,650,052 円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	43,728,373,249 円	8,129,322,531 円	35,599,050,718 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	2480 人	2960 人	119%
前年度	2480 人	3065 人	124%
前々年度	2480 人	3022 人	122%

(IIの補足資料) 「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○ 「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

○ 「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
教養学部	アーツ・サイエンス	夜・通信	15	0	110	125	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページによる公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/">https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページによる公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/organization/">https://www.icu.ac.jp/about/organization/</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	日本ヒューレット・パッカード（株）本部長	2020年6月 ～ 2023年5月	常務理事（総務担当、高校担当）
非常勤	日産自動車（株）	2020年6月 ～ 2023年5月	理事（法人業務に関する審議）
（備考） 理事全16名のうち、過半数は学外者である要件を満たす。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成し、本学オフィシャルウェブサイトおよび学内ウェブサイトで公表している。</p> <p><a href="https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/">https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/</a></p> <p>シラバスの作成、公表は以下のように行われている。</p> <p>前年度の2月末までにシラバスの入力を各教員が行い公表する。</p> <p>シラバス作成のためのガイドラインは本学学修・教育センターのウェブサイト内で公表されており、既存コースのシラバスのグッド・プラクティスとともに、各入力項目について記載する内容と、例を示している。</p> <p>授業の方法及び内容は「概要」と「内容」、到達目標は「学修目標」、成績評価の方法や基準は「成績評価基準」のそれぞれの項目に明記されている。</p> <p>シラバス作成のためのガイドライン</p> <p><a href="https://office.icu.ac.jp/ctl/fd_class_preparation/syllabus.html">https://office.icu.ac.jp/ctl/fd_class_preparation/syllabus.html</a></p>	
授業計画書の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学内サイトにて公表</li> </ul> <p><a href="https://campus.icu.ac.jp/icumap/ehb/SearchC0.aspx">https://campus.icu.ac.jp/icumap/ehb/SearchC0.aspx</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学ホームページにて公表</li> </ul> <p><a href="https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/">https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は試験（中間、期末）、レポート、授業への出席状況、発表、授業参加等をもとに行われ、科目ごとの成績評価基準はシラバス等を通じて学生に明示されている。</p> <p>成績は A（優）その科目において要求される程度を越えて特に優秀な成績（評点 100～90 点）、B（優）その科目の要求にふさわしい優れた成績（89～80 点）、C（良）一応、要求をみたす成績（79～70 点）、D（可）合格と認められる最低の成績（69～60 点）、E（不可）不合格（60 点未満）で評価され、D 以上について単位が与えられる。</p> <p>なお成績評価について学生が疑問のある場合成績評価の照会を行うことができる。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業成績をはかる基準として、履修した科目の点数合計を単位数で除する成績平均点数 GPA (Grade Point Average) を採用している。成績点数は、A=4 点、B=3 点、C=2 点、D=1 点、E=0 点として、該当する点数に科目単位数を乗じて算出され、登録した科目がすべて含まれる。</p> <p>更に教授会では、科目区分ごとの成績分布(Grade Distribution)データを年間 3 回共有している。これを教養学部長等がモニタリングし、極端な偏りが見られる場合には、教員への助言が与えられる。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学内サイトにて公表  <a href="https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac_guide/2008_08_4">https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac_guide/2008_08_4</a></li> <li>・ 本学ホームページにて公表  <a href="https://www.icu.ac.jp/academics/evaluation/">https://www.icu.ac.jp/academics/evaluation/</a></li> </ul>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針の策定については教授会が審議・議決するものとし、規程に則った手続きがなされており、卒業までに必要な単位数さらにその細目が定められている。これらの学位授与基準については入学年度毎に配布される冊子「卒業要件」、およびウェブサイトに掲載され学生に周知されている。学生はオンラインシステム（icuMAP）を使用して卒業要件をどの程度満たしているかを確認でき、さらに年に3回の履修登録時にアドバイザーと面談し履修状況を確認している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

・「卒業要件」の冊子を発行し学生に配布

・学内サイトにて公表

[https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac\\_guide/2008\\_02](https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac_guide/2008_02)

・本学ホームページにて公表

<https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/requirements/>



様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>
財産目録	<a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>
事業報告書	<a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2020年度事業計画 対象年度:2020年度)
公表方法:本学ホームページ <a href="https://www.icu.ac.jp/about/images/AY2020Activities_Plan_J.pdf">https://www.icu.ac.jp/about/images/AY2020Activities_Plan_J.pdf</a>
中長期計画(名称:中期計画(2020年度重点事項) 対象年度:2014-2020年度)
公表方法: <a href="https://www.icu.ac.jp/about/activities/midtermplan/">https://www.icu.ac.jp/about/activities/midtermplan/</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学ホームページに掲載 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/images/SelfStudy%20Evaluation%20Report%202016.pdf">https://www.icu.ac.jp/about/images/SelfStudy%20Evaluation%20Report%202016.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学ホームページに掲載 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/docs/U_accredited.pdf">https://www.icu.ac.jp/about/docs/U_accredited.pdf</a> 大学基準協会評価結果: <a href="https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=145&amp;page=1#result1">https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=145&amp;page=1#result1</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教養学部
教育研究上の目的（公表方法： ・本学ホームページによる公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a> ・「国際基督教大学 入学案内」発行／入手方法：来学、本学 HP から申込、本学 HP にて PD 版のダウンロード）
（概要） 国際基督教大学（ICU: International Christian University）は、献学以来「国際的社會人としての教養をもって、神と人にとり奉仕する有為の人材を養成し、恒久平和の確立に資すること」を目的に、国際性への使命（I: International）、キリスト教への使命（C: Christianity）、学問への使命（U: University）の 3 つを掲げてきた大学として、その実現に向けてたゆまぬ努力を続けている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： ・「卒業要件」の冊子を発行し学生に配布 ・学内サイトにて公表 <a href="https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac_guide/2008_02">https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac_guide/2008_02</a> ・本学ホームページにて公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/requirements/">https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/requirements/</a> )
（概要） 卒業の認定方針の策定については教授会が審議・議決するものとし、規程に則った手続きがなされており、卒業までに必要な単位数さらにその細目が定められている。これらの学位授与基準については入学年度毎に配布される冊子「卒業要件」、およびウェブサイトに掲載され学生に周知されている。学生はオンラインシステム（icuMAP）を使用して卒業要件をどの程度満たしているかを確認でき、さらに年に 3 回の履修登録時にアドバイザーと面談し履修状況を確認している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： ・本学ホームページによる公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a> 、 ・「国際基督教大学 入学案内」発行／入手方法：来学、本学 HP から申込、本学 HP にて PDF 版のダウンロード）
（概要） ICU はその理念と目的に基づき、ディプロマ・ポリシーに示す能力を持った人材を育成するため、以下のようにカリキュラムを編成しています。  リベラルアーツ教育のもつ“Later Specialization”（専門化を急がず、自分にあった専門を見きわめるべく幅広く学ぶための時間を重視する）という考え方に立ち、少人数教育により学生 1 人ひとりが主体的に科目を選択

できるよう適切なアドヴァイジングを行います。全体のカリキュラムは、大きく「全学共通科目」と「専門科目」に分かれ、横系と縦系を構成します。

全学共通科目には、語学、一般教育、体育があります。まず、1、2年次に履修する「語学教育科目」（語学要件により、英語あるいは日本語）では、バイリンガリズムの理念に基づき、単に言語の運用能力だけでなく、言語を通して論文作成やディスカッションの技能を身につけ、批判的思考と対話力など、アカデミックな技法を修得します。英語・日本語以外を学ぶ「世界の言語」では、未知の文化や考え方に触れ、より広い視野を養います。4年間をとおして学ぶ「一般教育科目」は、人文科学、社会科学、自然科学の3系統から構成され、さまざまな学問の本質に接することで、専攻したい分野の発見を助ける一方、複数の視点からその分野やテーマを位置付ける機会を提供し、教養教育の要として重要な役割を果たしています。また、「保健体育科目」は、知・徳・体のバランスを取り、全人的に成長することを促します。これらの「全学共通科目」を通して、学生はさまざまな知の世界に触れて幅広い視野や柔軟な思考力を身につけます。

すべての学問に通じる知的営みの基礎を築いた上で、2年次の終わりまでに、人文科学・社会科学・自然科学の諸分野からメジャー（専修分野）を決定し、中級以上のコースでは少人数による演習や実験の授業で専門を深めます。学際的なメジャーの存在に加え、ダブルメジャー、メジャー・マイナーを選択して複数の専門を同時に深めることも可能です。多様な学問領域での学びをとおして知識の有機的な統合をはかり、4年次には学業の集大成として、全員が1年間（3学期）かけて「卒業研究」を行います。その過程では、4年間をとおして学んだ知識や思考力を特定のテーマに収れんさせ、卒業論文という具体的な形にまとめることで、知的な成果を発信することを学びます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

本学ホームページにて公表

<https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/> )

(概要)

ICU は、世界人権宣言の原則に立ち、「責任ある地球市民」として世界の平和と多様な価値観を持つ人々との共生を実現するためにリベラルアーツ教育を実践しています。献学以来、その名に示されるように、国際性への使命、キリスト教への使命、学問への使命を掲げて、「行動するリベラルアーツ」の伝統を築いてきました。グローバル化する現代の社会でこの理念を実現してゆくために、ICU では日本全国および世界各地からの次のような資質を持つ学生を求めています。

- ・ 文系・理系にとられない広い領域への知的好奇心と創造力
- ・ 的確な判断力と論理的で批判的な思考力
- ・ 多様な文化との対話ができるグローバルなコミュニケーション能力

・ 主体的に問題を発見し、果敢に問題を解決してゆく強靱な精神力と実行力

日本あるいは世界各国の教育制度で、文系・理系にとらわれず幅広く学び、各教科・科目の基礎知識を関連づけて行動する知性へと変革する能力や外国語によるコミュニケーション能力を備えていることを重視します。

自己と世界の変革に挑戦するさまざまな可能性に満ちた学生を受け入れるため、教養学部では多様な選抜方法と多元的な評価尺度による入学者選抜を実施しています。

※大学 HP より「教育方針」>>「アドミッションズ・ポリシー（入学者受入れ方針）」

<https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/>

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

本学ホームページによる公表 <https://www.icu.ac.jp/about/info/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
教養学部	—	51人	39人	48人	4人	0人	142人
	—	人	人	人	人	人	144人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		109人					109
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学ホームページにて公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/faculty/">https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/faculty/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
新任教員向けのFDプログラム、ICT活用に関するワークショップ、特別な支援を必要とする学生へのサポートに関する公開セミナーの開催、日英両語による『FD Newsletter』の発行などを行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教養学部	620人	712人	114%	2480人	2960人	119%	人	21人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	620人	712人	114%	2480人	2960人	119%	人	21人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教養学部	540人 (100%)	98人 ( 14.8%)	481人 ( 72.4%)	85人 ( 12.8%)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	540人 (100%)	98人 ( 14.8%)	481人 ( 72.4%)	85人 ( 12.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
・授業計画（シラバス）の作成過程 概要、学習目標、内容、授業言語の詳細、成績評価基準、授業時間外学習、注意事項を必ず含めたものを作成している。また、作成されたものについては、所属長または所属長が任命する第三者によるチェックを行い、必要に応じて修正が求められる。
・授業計画の作成・公表時期 原則として前年度の1月～2月に作成し、3月に第三者チェックを行い、4月にウェブサイト上で公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
卒業の認定方針の策定については教授会が審議・議決するものとし、規程に則った手続きがなされており、卒業までに必要な単位数さらにその細目が定められている。これらの学位授与基準については入学年度毎に配布される冊子「卒業要件」、およびウェブサイトに掲載され学生に周知されている。学生はオンラインシステム（icuMAP）を使用して卒業要件をどの程度満たしているかを確認でき、さらに年に3回の履修登録時にアドバイザーと面談し履修状況を確認している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教養学部	アーツ・サイエンス学科	136 単位	無	18 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページによる公表 <https://www.icu.ac.jp/about/info/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
教養学部	アーツ・サイエンス学科	1,077,000円	300,000円	354,000円	施設費
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生、教員両方を支援する学修・教育センターにおいて、学生には以下の4つの支援を行っている。 アカデミックプランニングサポート：履修やメジャー選択等についての相談に職員および学生アドバイザーが応じている。 ライティングサポート：授業課題や卒業論文を対象とし、職員および大学院生がライティングについてのアドヴァイジングを行っている。 特別学修支援：身体障がい（肢体不自由・視覚障がい・ろう／難聴）、学習障がい、発達障がい、精神障がい等のある学生に合理的配慮を提供している。 ICT支援：学習管理システム（LMS）の利用サポートなどのICTを活用した学修のサポートを行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 個別支援（キャリアカウンセリング、面接練習等）と集団支援（ガイダンス、セミナー等）を二本柱として、一人ひとりの学生にとって納得感の高い進路選択をゴールに支援を実施している。就職活動支援がメインではあるが、大学院進学をめざす学生に向けたイベント（卒業後間もない大学院生による座談会など）開催にも取り組んでいる。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 主に以下の取組及びその実践・設置 ・学生の健康を考える会の開催（学期中毎月1回） ・薬物問題対策特別委員会の設置と学内への啓発活動の実施 ・カウンセリングセンターの設置 ・リベラルアーツの実践として保健体育を必修としている

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページによる公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>
--



(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		45人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	25人	人	
	第Ⅱ区分	14人	人	
	第Ⅲ区分	6人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				45人
(備考) 前年度（2019年度）は、本修学支援制度開始前のため、20年度の申請時までの数値を記載いたしました。				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考) 前年度(2019年度)は、本修学支援制度開始前のため、20年度の申請時までの数値を記載いたしました。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)  
前年度(2019年度)は、本修学支援制度開始前のため、20年度の申請時までの数値を記載いたしました。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人

(備考)  
前年度(2019年度)は、本修学支援制度開始前のため、20年度の申請時までの数値を記載いたしました。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。)、 高等専門学校(認定専攻科を含 む。)及び専門学校(修業年限が 2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人

(備考)

前年度（2019年度）は、本修学支援制度開始前のため、20年度の申請時までの数値を記載いたしました。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
教養学部	アーツ・サイエンス	夜・通信	15	0	110	125	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページによる公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/">https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページによる公表  
<https://www.icu.ac.jp/about/organization/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	日本ヒューレット・パッ カード（株）本部長	2020年6月 ～ 2023年5月	常務理事（総務担 当、高校担当）
非常勤	日産自動車（株）	2020年6月 ～ 2023年5月	理事（法人業務に関 する審議）
(備考) 理事全16名のうち、過半数は学外者である要件を満たす。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成し、本学オフィシャルウェブサイトおよび学内ウェブサイトにて公表している。</p> <p><a href="https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/">https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/</a></p> <p>シラバスの作成、公表は以下のように行われている。</p> <p>前年度の2月末までにシラバスの入力を各教員が行い公表する。</p> <p>シラバス作成のためのガイドラインは本学学修・教育センターのウェブサイト内で公表されており、既存コースのシラバスのグッド・プラクティスとともに、各入力項目について記載する内容と、例を示している。</p> <p>授業の方法及び内容は「概要」と「内容」、到達目標は「学修目標」、成績評価の方法や基準は「成績評価基準」のそれぞれの項目に明記されている。</p> <p>シラバス作成のためのガイドライン</p> <p><a href="https://office.icu.ac.jp/ctl/fd_class_preparation/syllabus.html">https://office.icu.ac.jp/ctl/fd_class_preparation/syllabus.html</a></p>	
授業計画書の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学内サイトにて公表</li> </ul> <p><a href="https://campus.icu.ac.jp/icumap/ehb/SearchC0.aspx">https://campus.icu.ac.jp/icumap/ehb/SearchC0.aspx</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学ホームページにて公表</li> </ul> <p><a href="https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/">https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/list_syllabi/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は試験（中間、期末）、レポート、授業への出席状況、発表、授業参加等をもとに行われ、科目ごとの成績評価基準はシラバス等を通じて学生に明示されている。</p> <p>成績は A（優）その科目において要求される程度を越えて特に優秀な成績（評点 100～90 点）、B（優）その科目の要求にふさわしい優れた成績（89～80 点）、C（良）一応、要求をみたす成績（79～70 点）、D（可）合格と認められる最低の成績（69～60 点）、E（不可）不合格（60 点未満）で評価され、D 以上について単位が与えられる。</p> <p>なお成績評価について学生が疑問のある場合成績評価の照会を行うことができる。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業成績をはかる基準として、履修した科目の点数合計を単位数で除する成績平均点数 GPA (Grade Point Average) を採用している。成績点数は、A=4 点、B=3 点、C=2 点、D=1 点、E=0 点として、該当する点数に科目単位数を乗じて算出され、登録した科目がすべて含まれる。</p> <p>更に教授会では、科目区分ごとの成績分布 (Grade Distribution) データを年間 3 回共有している。これを教養学部長等がモニタリングし、極端な偏りが見られる場合には、教員への助言が与えられる。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学内サイトにて公表  <a href="https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac_guide/2008_08_4">https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac_guide/2008_08_4</a></li> <li>・ 本学ホームページにて公表  <a href="https://www.icu.ac.jp/academics/evaluation/">https://www.icu.ac.jp/academics/evaluation/</a></li> </ul>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	



(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針の策定については教授会が審議・議決するものとし、規程に則った手続きがなされており、卒業までに必要な単位数さらにその細目が定められている。これらの学位授与基準については入学年度毎に配布される冊子「卒業要件」、およびウェブサイトに掲載され学生に周知されている。学生はオンラインシステム（icuMAP）を使用して卒業要件をどの程度満たしているかを確認でき、さらに年に3回の履修登録時にアドバイザーと面談し履修状況を確認している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

・「卒業要件」の冊子を発行し学生に配布

・学内サイトにて公表

[https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac\\_guide/2008\\_02](https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac_guide/2008_02)

・本学ホームページにて公表

<https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/requirements/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>
財産目録	<a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>
事業報告書	<a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2020年度事業計画 対象年度:2020年度)
公表方法:本学ホームページ <a href="https://www.icu.ac.jp/about/images/AY2020Activities_Plan_J.pdf">https://www.icu.ac.jp/about/images/AY2020Activities_Plan_J.pdf</a>
中長期計画(名称:中期計画(2020年度重点事項) 対象年度:2014-2020年度)
公表方法: <a href="https://www.icu.ac.jp/about/activities/midtermplan/">https://www.icu.ac.jp/about/activities/midtermplan/</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学ホームページに掲載 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/images/SelfStudy%20Evaluation%20Report%202016.pdf">https://www.icu.ac.jp/about/images/SelfStudy%20Evaluation%20Report%202016.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学ホームページに掲載 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/docs/U_accredited.pdf">https://www.icu.ac.jp/about/docs/U_accredited.pdf</a> 大学基準協会評価結果: <a href="https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=145&amp;page=1#result1">https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=145&amp;page=1#result1</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教養学部
教育研究上の目的（公表方法： ・本学ホームページによる公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a> ・「国際基督教大学 入学案内」発行／入手方法：来学、本学 HP から申込、本学 HP にて PD 版のダウンロード）
（概要） 国際基督教大学（ICU: International Christian University）は、献学以来「国際的社會人としての教養をもって、神と人にとり奉仕する有為の人材を養成し、恒久平和の確立に資すること」を目的に、国際性への使命（I: International）、キリスト教への使命（C: Christianity）、学問への使命（U: University）の 3 つを掲げてきた大学として、その実現に向けてたゆまぬ努力を続けている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： ・「卒業要件」の冊子を発行し学生に配布 ・学内サイトにて公表 <a href="https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac_guide/2008_02">https://sites.google.com/a/icu.ac.jp/ehandbook2020/home/Campus/jp/ac_guide/2008_02</a> ・本学ホームページにて公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/requirements/">https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/requirements/</a> )
（概要） 卒業の認定方針の策定については教授会が審議・議決するものとし、規程に則った手続きがなされており、卒業までに必要な単位数さらにその細目が定められている。これらの学位授与基準については入学年度毎に配布される冊子「卒業要件」、およびウェブサイトに掲載され学生に周知されている。学生はオンラインシステム（icuMAP）を使用して卒業要件をどの程度満たしているかを確認でき、さらに年に 3 回の履修登録時にアドバイザーと面談し履修状況を確認している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： ・本学ホームページによる公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a> 、 ・「国際基督教大学 入学案内」発行／入手方法：来学、本学 HP から申込、本学 HP にて PDF 版のダウンロード）
（概要） ICU はその理念と目的に基づき、ディプロマ・ポリシーに示す能力を持った人材を育成するため、以下のようにカリキュラムを編成しています。  リベラルアーツ教育のもつ“Later Specialization”（専門化を急がず、自分にあつた専門を見きわめるべく幅広く学ぶための時間を重視する）という考え方に立ち、少人数教育により学生 1 人ひとりが主体的に科目を選択

できるよう適切なアドヴァイジングを行います。全体のカリキュラムは、大きく「全学共通科目」と「専門科目」に分かれ、横系と縦系を構成します。

全学共通科目には、語学、一般教育、体育があります。まず、1、2年次に履修する「語学教育科目」（語学要件により、英語あるいは日本語）では、バイリンガリズムの理念に基づき、単に言語の運用能力だけでなく、言語を通して論文作成やディスカッションの技能を身につけ、批判的思考と対話力など、アカデミックな技法を修得します。英語・日本語以外を学ぶ「世界の言語」では、未知の文化や考え方に触れ、より広い視野を養います。4年間をとおして学ぶ「一般教育科目」は、人文科学、社会科学、自然科学の3系統から構成され、さまざまな学問の本質に接することで、専攻したい分野の発見を助ける一方、複数の視点からその分野やテーマを位置付ける機会を提供し、教養教育の要として重要な役割を果たしています。また、「保健体育科目」は、知・徳・体のバランスを取り、全人的に成長することを促します。これらの「全学共通科目」を通して、学生はさまざまな知の世界に触れて幅広い視野や柔軟な思考力を身につけます。

すべての学問に通じる知的営みの基礎を築いた上で、2年次の終わりまでに、人文科学・社会科学・自然科学の諸分野からメジャー（専修分野）を決定し、中級以上のコースでは少人数による演習や実験の授業で専門を深めます。学際的なメジャーの存在に加え、ダブルメジャー、メジャー・マイナーを選択して複数の専門を同時に深めることも可能です。多様な学問領域での学びをとおして知識の有機的な統合をはかり、4年次には学業の集大成として、全員が1年間（3学期）かけて「卒業研究」を行います。その過程では、4年間をとおして学んだ知識や思考力を特定のテーマに収れんさせ、卒業論文という具体的な形にまとめることで、知的な成果を発信することを学びます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

本学ホームページにて公表

<https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/> )

(概要)

ICU は、世界人権宣言の原則に立ち、「責任ある地球市民」として世界の平和と多様な価値観を持つ人々との共生を実現するためにリベラルアーツ教育を実践しています。献学以来、その名に示されるように、国際性への使命、キリスト教への使命、学問への使命を掲げて、「行動するリベラルアーツ」の伝統を築いてきました。グローバル化する現代の社会でこの理念を実現してゆくために、ICU では日本全国および世界各地からの次のような資質を持つ学生を求めています。

- ・ 文系・理系にとられない広い領域への知的好奇心と創造力
- ・ 的確な判断力と論理的で批判的な思考力
- ・ 多様な文化との対話ができるグローバルなコミュニケーション能力

・ 主体的に問題を発見し、果敢に問題を解決してゆく強靱な精神力と実行力

日本あるいは世界各国の教育制度で、文系・理系にとらわれず幅広く学び、各教科・科目の基礎知識を関連づけて行動する知性へと変革する能力や外国語によるコミュニケーション能力を備えていることを重視します。

自己と世界の変革に挑戦するさまざまな可能性に満ちた学生を受け入れるため、教養学部では多様な選抜方法と多元的な評価尺度による入学者選抜を実施しています。

※大学 HP より「教育方針」>>「アドミSSIONズ・ポリシー（入学者受入れ方針）」

<https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/>

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

本学ホームページによる公表 <https://www.icu.ac.jp/about/info/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
教養学部	—	51人	39人	48人	4人	0人	142人
	—	人	人	人	人	人	144人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		109人					109
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学ホームページにて公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/faculty/">https://www.icu.ac.jp/academics/undergraduate/faculty/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
新任教員向けのFDプログラム、ICT活用に関するワークショップ、特別な支援を必要とする学生へのサポートに関する公開セミナーの開催、日英両語による『FD Newsletter』の発行などを行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教養学部	620人	712人	114%	2480人	2960人	119%	人	21人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	620人	712人	114%	2480人	2960人	119%	人	21人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教養学部	540人 (100%)	98人 ( 14.8%)	481人 ( 72.4%)	85人 ( 12.8%)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	540人 (100%)	98人 ( 14.8%)	481人 ( 72.4%)	85人 ( 12.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>・授業計画（シラバス）の作成過程 概要、学習目標、内容、授業言語の詳細、成績評価基準、授業時間外学習、注意事項を必ず含めたものを作成している。また、作成されたものについては、所属長または所属長が任命する第三者によるチェックを行い、必要に応じて修正が求められる。</p> <p>・授業計画の作成・公表時期 原則として前年度の1月～2月に作成し、3月に第三者チェックを行い、4月にウェブサイト上で公表している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
卒業の認定方針の策定については教授会が審議・議決するものとし、規程に則った手続きがなされており、卒業までに必要な単位数さらにその細目が定められている。これらの学位授与基準については入学年度毎に配布される冊子「卒業要件」、およびウェブサイトに掲載され学生に周知されている。学生はオンラインシステム（icuMAP）を使用して卒業要件をどの程度満たしているかを確認でき、さらに年に3回の履修登録時にアドバイザーと面談し履修状況を確認している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教養学部	アーツ・サイエンス学科	136 単位	無	18 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページによる公表 <https://www.icu.ac.jp/about/info/>



⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
教養学部	アーツ・サイエンス学科	1,077,000円	300,000円	354,000円	施設費
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生、教員両方を支援する学修・教育センターにおいて、学生には以下の4つの支援を行っている。 アカデミックプランニングサポート：履修やメジャー選択等についての相談に職員および学生アドバイザーが応じている。 ライティングサポート：授業課題や卒業論文を対象とし、職員および大学院生がライティングについてのアドヴァイジングを行っている。 特別学修支援：身体障がい（肢体不自由・視覚障がい・ろう／難聴）、学習障がい、発達障がい、精神障がい等のある学生に合理的配慮を提供している。 ICT支援：学習管理システム（LMS）の利用サポートなどのICTを活用した学修のサポートを行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 個別支援（キャリアカウンセリング、面接練習等）と集団支援（ガイダンス、セミナー等）を二本柱として、一人ひとりの学生にとって納得感の高い進路選択をゴールに支援を実施している。就職活動支援がメインではあるが、大学院進学をめざす学生に向けたイベント（卒業後間もない大学院生による座談会など）開催にも取り組んでいる。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 主に以下の取組及びその実践・設置 ・学生の健康を考える会の開催（学期中毎月1回） ・薬物問題対策特別委員会の設置と学内への啓発活動の実施 ・カウンセリングセンターの設置 ・リベラルアーツの実践として保健体育を必修としている

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページによる公表 <a href="https://www.icu.ac.jp/about/info/">https://www.icu.ac.jp/about/info/</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	国際基督教大学
設置者名	学校法人 国際基督教大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		45人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	25人	人	
	第Ⅱ区分	14人	人	
	第Ⅲ区分	6人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				45人
(備考) 前年度（2019年度）は、本修学支援制度開始前のため、20年度の申請時までの数値を記載いたしました。				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考) 前年度(2019年度)は、本修学支援制度開始前のため、20年度の申請時までの数値を記載いたしました。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)  
前年度(2019年度)は、本修学支援制度開始前のため、20年度の申請時までの数値を記載いたしました。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人

(備考)  
前年度(2019年度)は、本修学支援制度開始前のため、20年度の申請時までの数値を記載いたしました。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。)、 高等専門学校(認定専攻科を含 む。)及び専門学校(修業年限が 2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人

(備考)

前年度（2019年度）は、本修学支援制度開始前のため、20年度の申請時までの数値を記載いたしました。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。